

青野沢川河川災害復旧工事（その1）

2017年12月 工事だより

工期：2014年12月17日 ～
2018年3月23日

工事進捗状況

工種	進捗率	備考
河川土工	90.4 %	掘削、盛土
護岸工	55.5 %	基礎工、法覆護岸他
排水工	0.0 %	水路、管路、樹他
付属構造物工	57.4 %	階段他
構造物撤去工	81.4 %	無筋コン、鉄筋コン
地盤改良工	100.0 %	地盤改良
樋門・樋管本体工	100.0 %	樋門・樋管4基
鋼橋上部	95.8 %	鋼単純非合成箱桁橋他
橋梁下部	100.0 %	橋台2基、場所打ち杭
構造物撤去工	100.0 %	旧橋撤去
仮設工	88.1 %	工事用道路、水替え他

トピックス

～ 日本の橋はいつからあるの？ ～

かすら橋

徳島平野を流れる吉野川の上流の祖谷（いや）川には、今もかすらをロープに用いた吊橋があります。長さは47m（新しい港橋は55mなので、ほぼ同じ！）もあり、谷間で隔てられた村々を結ぶ重要な連絡路となってきました。かすらやらじで編んだこの種の吊橋は、明治初期までかなり見られましたが、現在では四国のかすら橋を残して姿を消してしまいました。



錦帯橋

岩国藩主によって延宝元年（1673年）に最初の橋が架けられたあと、何代にもわたって原型に忠実に再現され、架け替えられてきました。反り橋と呼ばれるわが国の伝統的な橋梁技術であり、今日でいうアーチ橋です。



参照：土木学会「ものしり博士の土木教室」

施工状況



左岸側

右岸側

全景写真

国道45号大沢第2橋 架け替え工事が本格的に始動しました。これに伴い、国道45号線も一部切り替わっています。また、海岸線の防潮堤工事も始まりました。まずは、基礎杭の施工からのようです。本工事は、引き続き堤防の被覆ブロックを進めています。

盛土工（左岸No.6）



敷き均し転圧

法覆護岸工（橋下部）



被覆コンクリート打設

法覆護岸工（右岸No.10）



均しコンクリート打設完了

法覆護岸工（左岸No.6）



間詰めコンクリート打設

天端工（右岸No.10）



コンクリート打設

構造物撤去工（左岸No.7）



既設護岸撤去

施工業者にQ&A



（株）丸本建設 佐々木守（職長）

構造物撤去工を担当した丸本建設さんに話を聞きました。

Q: 会社は地元の気仙沼ですね。解体工事以外にも行っている仕事はあるのでしょうか？

A: 撤去した廃材をリサイクルさせるリサイクルセンターを運営しています。また、自社所有の山があり、そこから切り崩した岩石を砕いて、砕石として販売したりしています。

Q: 本工事では、他の現場と比べて、どんなところが大変ですか？

A: 他の河川よりも護岸が大きく、硬いコンクリートで作られているので、撤去に時間がかかってしまうことです。

Q: 工事で工夫したり、気を付けてた点はありますか？

A: 撤去工事なので、解体物で川や海をなるべく汚さないように気を使っています。特に重機からの油漏れには注意しています！



コンクリート廃材を砕石に再利用


連絡先

事務所 住所：気仙沼市唐桑町出山240-5

電話：0226-31-3201 FAX：0226-31-3510

ホームページ： <https://www.takenaka-doboku.co.jp/aonosawa/index.html>

人と地球の架け橋に

 竹中土木